



徳川御三家 水戸藩ゆかりの史跡と「まちかど博物館」めぐり

モデルコース（見学も含めて徒歩約1時間30分）

那珂湊駅 — 明石屋 安源七商店 — 山上門・反射炉跡 — 稲葉屋菓子店 — 華蔵院 — 湊公園・貧賈閣跡・湊御殿の松 — 旧あさ川 那珂湊店 — 天満宮 — 四郎介稲荷 — 那珂湊駅

那珂湊は江戸時代から舟運(しゅううん)の拠点として栄え、まちなかには町屋や蔵が建ち並んで人や物資で賑わい、水戸藩で最も繁栄した地でした。徳川光圀ら歴代藩主もしばしばこの地を訪れ、藩の施設も次々造られました。しかし、幕末の水戸藩内の抗争(元治甲子の乱)や昭和22年の大火で著名な建物や神社仏閣、町屋や商家の多くが失われ、さらに東日本大震災でも歴史ある土蔵などが倒壊してしまいました。数々の苦難に耐え、那珂湊の繁栄当時の面影を今に残す貴重な商家などを「まちかど博物館」と呼んでいます。「まちかど博物館」ではお店の昔話や建物の説明を聞くことができます。水戸藩ゆかりの史跡めぐりの途中、気軽に訪ねてみてください。

※店主等が不在の場合は説明が聞けないこともあります。



明石屋 安源七商店
大正初期の建物。カレンダー・うち販売。



稲葉屋菓子店
明治20年の創業の和菓子店。飴玉「はんしゃろの鉄砲玉」が有名。



旧あさ川 那珂湊店
昭和初期の建物。元は醸造業。現在内部見学は休止しています。



梅藤米穀店
昭和初期の建物。米穀販売店。

那珂湊駅

大正2年に湊鉄道として開業以来の木造駅舎。事務室や木造のホームの柱などに当時の面影が残る。「フラガール」ほか映画・テレビ撮影の舞台にもよく使われる。「関東の駅百選」にも認定されている。



会津鉄道・銚子電鉄と姉妹駅、水戸藩ゆかりの史跡めぐりの途中、気軽に訪ねてみてください。



山上門 【市指定文化財】
水戸藩江戸小石川邸(東京都文京区)にあった勅使奉迎のために設けられた門。門の形式は江戸時代の典型的な薬匠門で西郷隆盛や幕末の志士たちもこの門をくぐったと伝えられる。昭和12年にこの地に移築された。



那珂湊反射炉 【県指定史跡】
安政4年(1858)、国防の必要性を唱えた9代藩主・徳川斉昭が鉄製大砲の鑄造施設として建設。反射炉の名前は火炎を炉内で効率よく反射させる構造に由来している。幕末の元治甲子の乱(1864)で倒壊されるまで約20門が鑄造され、幕府へも献上された。現在の反射炉は昭和12年に復元された。



貧賈閣跡 湊御殿の松 【市指定天然記念物】
貧賈閣(いひんかく)は元禄11年(1698)に2代藩主・徳川光圀(黄門様)が建てた水戸藩の別邸。湊御殿とも呼ばれ、一部2階建て部屋数は30前後あった。元治甲子の乱で焼失した跡地は湊公園として整備され、光圀が須磨明石(兵庫県)から取り寄せたという樹齢約350年の見事な黒松が12本残されている。公園は太平洋や那珂川が見渡せる那珂湊地区一番の景勝地。



2015 グッドデザイン賞受賞 湊線の駅名標はグッドデザイン賞(制作は常磐大准教授の小佐原孝幸さん。Dは駅名標のデザインです)



ひたちなか市の玄関口。JR常磐線からの乗換駅で湊線発着駅。1番線が会社線のJR駅は全国でもまれです。かつては水戸駅まで湊線が乗り入れていました。毎年多数の参加者を誇る「勝田全国マラソン大会」でも有名です。

D キハ3710車両前面と海浜鉄道の社章



駅の周囲一面が田園風景。首都圏から一番近い「秘境駅」で、沿線一番の撮影スポットです。国指定史跡で彩色壁画が保存されている「虎塚古墳」や国指定史跡「十五郎穴横穴墓群」、400年の歴史をもつ「中根の湯」への最寄り駅です。

D 虎塚古墳と出土した刀剣



小さい子ども安心して遊べる「姥の懐マリンプール」(休止中)や水戸藩9代藩主・徳川斉昭が選定した水戸八景の一つ「水門帰帆」(みなとのきはん)が近いです。太平洋をバックに列車が通過する撮影ポイント「沢メキ踏切」へは、この駅が便利です。

D 市の花ハマギクとケイトウ



勝田駅から約700m。1962年に開業した。湊線で3番目に新しい駅です。2019年10月に「日工前」から駅名が変更になりました。勝田おもて町通り商店街や文化会館、甲斐武田氏発祥の地として関係資料を展示している「武田氏館」へ便利です。

D 電動工具のインパクトドライバーとセーバーソー



2014年10月に10番目の駅として開業しました。ホームの屋根は国道の陸橋というユニークな駅です。近くの中丸川に架かる鉄橋を地元の人が高田の鉄橋と呼んでいたのが駅名になりました。付近には住宅や店舗が最近増えています。

D レールと鉄橋を渡る列車



駅から海へ向かうと、かつて漁業と潮湯治で栄えた懐かしい町並みが残されています。波が穏やかな平磯海水浴場のど真ん中には海水浴シーズン中、子どもたちに人気の「クジラの大ちゃん」がニコリして浮かんでいます。

D 大ちゃんと、白亜紀の岩礁に立つ海鳥



陸上自衛隊勝田駐屯地、江戸時代からの歴史がある長者ヶ谷津温泉への最寄り駅。海浜鉄道発足後、列車交換設備がつくられました。勝田～金上の駅名が「勝って金上げ」から「縁起のいい切符」として那珂湊駅で販売されています。

D 駐屯地の桜と戦車



湊線の中枢駅で、本社や機関区があります。応援団の活動拠点にもなっています。那珂湊おさかな市場、アクアワールド・大洗へは駅から歩いて行けます。史跡や名勝、海鮮料理や那珂湊焼きそば、スイーツが楽しめるお店も数多くあります。

D 反射炉とキハ601、駅猫おさむ



2021年3月に開業した湊線11番目の新駅。周辺5つの小中学校が統合し、同年4月に開校した義務教育学校・美乃浜学園の最寄り駅です。学園生約500人の多くは、朝夕の列車通学でこの駅を利用しています。

D 海、万葉集の和歌、屋上のソーラーパネル、磯節の三味線、スカシユリ



ひたちなか市は干しいも生産量が日本一。周辺の高台にはさつまいも畑が広がります。駅から近い海岸線は中生代白亜紀層の岩礁で、アンモナイトなどの化石が発見されました。磯遊びにも好適地です。酒列磯前神社は千年以上の歴史を誇ります。

D さつま芋と、酒列神社に祀られる少彦名命



現在の湊線終着駅。この駅から国営ひたち海浜公園の西口付近まで3.1kmの延伸計画があります。長いホームはかつて海水浴臨時列車・急行あじがうら号が乗り入れた名残です。阿寄ヶ浦海水浴場へは徒歩数分。海浜公園へはネモフィラやコキアの季節に無料のシャトルバスを駅から運行します。

D 温泉、アンコウ、釣り針、海藻



那珂湊駅の駅猫として約10年間親しまれてきた「おさむ」は2019年6月23日に天国へ旅立ちました。現在は妹分の「ミニさむ」が、おさむの後を継ぎ、駅務やまちの巡りに励んでいます。

海浜鉄道&応援団 INFORMATION

湊線と沿線の情報はHPとfacebookなどSNSで



応援団ギャラリー ケハ601 & キハ203

那珂湊駅構内北側にある日本初のステンレス車体気動車ケハ601とキハ203の見学(外観)が可能です。土日祝日に、駅待合室にいる応援団員にお声掛けください。団体での観覧希望も海浜鉄道にご相談ください。

(那珂湊駅 029-262-2361)



ケハ601とキハ203(手前)

「乗車証明書」提示でおトクな旅を!

湊線を応援する商店街やおさかな市場等では「乗車特典サービス」を実施しています。那珂湊駅または乗務員が発行する「乗車証明書」の提示で、各店独自のサービスが受けられます。土日祝日には那珂湊駅応援団員が配布しています。



応援券付 硬券1日フリー切符



勝田駅湊線窓口と那珂湊駅窓口で販売しています。硬券と応援券は四季毎に発行される4種類があります。4種類の応援券を那珂湊駅窓口で提示すると、粗品をプレゼントします。切符の売上げの一部は、応援団の活動費などに使われています。(デザインは不定期で変わります。)

ポストカード販売中!

